

■フランス・ドイツ：仏保険会社、RWEの石炭火力建設への投資から撤退

2018年7月24日付の報道によると、フランスの保険会社MacifとAG2R La Mondialeは、新規に石炭火力発電所建設を計画する事業者への出資から撤退する声明を発表した。両社は計約120の石炭火力発電会社に対し出資しているが、うち7割ほどがドイツのRWEと関わりのある企業で、RWEは当該決定に重大な影響を受けることとなる。RWEに対する保険会社からの出資はすでにAllianz、AXA、Generali、SCORが打ち切っているものの、French Bank BNP ParibasとGerman reinsurer Munich Re.の2社は出資を継続する形となる。昨年11月、複数の環境団体が実施した調査によると、世界有数の保険会社のうち15社が既に石炭投資から撤退する旨を表明している。